

確定申告書の記載手順

- 「確定申告書」は、「申告書B第一表、第二表」及び「申告書第三表(分離課税用)」の申告書用紙を使用します。ここでは、【事例1】(4～13ページ)に基づいて作成した「申告書B第一表、第二表」及び「申告書第三表(分離課税用)」を示して、申告書の記載手順を説明します。
- 記載手順は、矢印と番号(①～⑦)で記載箇所ごとに表示しています。各記載箇所の記載方法の詳細は、4ページから15ページをご覧ください。
 なお、「確定申告書」の作成に先立って、「山林所得収支内訳書(計算明細書)」(国税庁ホームページからダウンロードできます。なお、税務署にも用意してあります。)を作成します。

(記載した部分は、便宜上、青色で表示しています。)

申告書記載に当たってのお願い

記載に当たっては、次の点についてのご協力をお願いいたします。

- 申告書等は、黒いインクのボールペンで書いてください。
 なお、申告書は複写式となっておりますが、2枚目(控用)は取り外して使用しても差し支えありません。
- フリガナは、濁点「ㇿ」半濁点「ㇻ」は一字分とし、姓と名の間は一字空けてください。
- マス目が設けられている記載欄に数字を記入する際には、右の記載例にならってマス目の中に丁寧に書いてください。
 なお、1億円以上の金額がある場合には、右の記載例にならって書いてください。
- 記入事項を訂正する場合には、二重線で抹消し、その上の欄などの余白に適宜書いてください。

【記載例】

縦線1本 隙間を空ける 上に突き抜ける 角を作る

0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 閉じる

【記載例】 (金額が1,234,500,000円の場合)

1234500000

【記載例】

配当④ 1230000

給与⑤ 2300000

記載手順

- ① 「山林所得収支内訳書(計算明細書)」を作成します。(4～5、14～15ページ参照)
- ② 第一表の収入金額等と所得金額等の箇所を書きます。(6～7ページ参照)
- ③ 第二表を作成します。第二表は、②及び④の記載と併せて作成します。(第二表の記載例は、8ページを参照してください。)
- ④ 第一表の所得から差し引かれる金額の箇所を書きます。(9ページ参照)
- ⑤ 第三表の山林の収入金額や所得金額などの箇所を書きます。(10～11ページ参照)
- ⑥ 第三表の税金の計算の箇所を書きます。(12ページ参照)
- ⑦ 第一表の税金の計算、その他などの箇所を書きます。(13ページ参照)

申告書B第二表

確定申告書には、毎回、マイナンバー(個人番号)を記入する必要があります。

申告書B第一表

令和02年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

整理番号 FA2300

令和02年2月16日 令和02年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書B

住所 Y市〇〇町1-10

氏名 大阪 太郎

職業 会社員

世帯主の氏名 大阪太郎

世帯主との続柄 本人

収入金額等

所得金額等

所得から差し引かれる金額

税金の計算

その他

合計 1160000

山林所得収支内訳書(計算明細書)

譲渡者 住居 Y市〇〇町1-10

氏名(フリガナ) オオサカ タロウ

電話番号 (×××) △△△-〇〇〇〇

譲渡者 住居 Y市〇〇町1-10

氏名 大阪 太郎

電話 (×××) △△△-〇〇〇〇

合計 内

申告書第三表(分離課税用)

令和02年分の所得税及び復興特別所得税の確定申告書(分離課税用)

整理番号 FA2400

住所 Y市〇〇町1-10

氏名 大阪 太郎

収入金額

所得金額

税金の計算

その他

合計 7820000